

週刊「中国・アジア・ダイジェスト

2012.01.09~01.20

記事の詳細は、情報検索サービス
『キジサク』でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

CHINA

1月11日(水)

中国、輸出20%増146兆円
昨年/貿易黒字3年連続減
中国の2011年の輸出は前年比20.3%増の1兆8986億ドル(約146兆円)と過去最高、3年連続の世界一が確定。輸入は24.9%増の1兆7435億ドル。貿易黒字は1551億ドル、3年連続で減少。(時事=3面)

田淵電機、江西省に生産拠点
エアコン用部品/月産40万台

田淵電機は、江西省宜春市に室内エアコン用リニアターの生産拠点を新設する。合弁を設立、月40万台規模で開始。中国市場に年300万台を供給してシェア20%超の獲得を狙う。(8面)

1月12日(木)

中国内陸部に出店攻勢
コンビニ大手

コンビニエンスストア大手の中国内陸部での出店競争が激化。成都市ではセブン・イレブンが40店を開き先行。近くファミリーマートも展開。ローソンは重慶市での出店計画を上方修正。(13面)

日立の小泉フェロー、院士に

中国工程院/日本人4人目
中国の科学技術に関する最高研究機関・中国工程院は、新たに院士の一人に日立製作所の小泉英明フェローを選んだ。脳科学や教育分野における中国での業績が評価された。日本人4人目。(19面)

1月13日(金)

新車販売、13年ぶり低い伸び
昨年、台数は世界一/1850万5100台

中国の2011年の新車販売台数は、前年比2.5%増の1850万5100台と、3年連続世界一に立ったが、98年以来13年ぶりの低い伸びにとどまった。中国自動車工業協会が発表した。(時事=3面)

日本電産トーソク、現調90%に
中国製造の変速機部品の部材
日本電産トーソクは、2012年度内に、



春節(旧正月)を前に、上海市内の駅で故郷への列車を待つ人々(ブルームバーグ)



香港証取はIPOで3年連続
世界一(2兆5000億円)

CHINA

日立化成、中国で電子材料開発
現地ニーズに対応

日立化成工業は、中国で現地のニーズに対応した電子材料の開発を始める。まずプリント配線板用の感光性フィルムの改良からスタートし、数年内に現地でから開発した製品を発売。(19面)

日本アジア投資がファンド

中国の成長企業に投資/24億円

日本アジア投資は、蘇州市吳中区人民政府傘下の吳中VCと協働し、中国の成長企業に投資する人民元建てファンドを設立した。当初設定額は2億元(約24億円)で、合弁会社が運用する。(25面)

電通大、量子光学で共同研究
中国・山西大学と交流協定

電気通信大学は、中国の山西大学と交流協定を結ぶ。量子光学の分野から共同研究や学生の相互受け入れを始め、情報通信やロボット工学などの分野に広げていく。3月末の調印を予定。(27面)

森精機、瀋陽機床から鋳物

月500t/為替リスク抑える

森精機製作所は、4月をめどに中国の大手工作機械メーカーの瀋陽機床から月500tの鋳物を調達する。ドルで購入して為替変動リスクを抑制し、工作機械のコスト競争力を強化する。(6面)

1月19日(木)

キリウ、中国に生産委託

日産向け/ブレーク部品月1000t

キリウは、中国で自動車用鋳造部品を製造する富士和機械工業にブレーク部品の生産を委託する。2014年1月1000t規模。主要顧客である日産自動車の中国生産増強に対応する。(5面)

コイルバネ素材を現地調達

中央発條/まず1車種

中央発條は、夏までに中国で生産する主力のコイルバネの素材を現地調達に切り替える。現在、ほぼ全量を日本から輸入。まず1車種向けの素材を現地材に切り替え、順次拡大する。(5面)

森精機、瀋陽機床から鋳物

月500t/為替リスク抑える

森精機製作所は、4月をめどに中国の大手工作機械メーカーの瀋陽機床から月500tの鋳物を調達する。ドルで購入して為替変動リスクを抑制し、工作機械のコスト競争力を強化する。(6面)

ATMで「銀聯カード」

地銀に提供/NTTデータ

NTTデータは、日本のATMで中国の「銀聯カード」を使えるようにするソルトワードを地方銀行向けに提供する。現金の引き出しや残高照会が可能。京都銀行が同日から導入した。(9面)

中国での研究開発を加速

ダイセル/新エネ・環境に軸足

ダイセルは、中国での研究開発を強化する。従来のキラル化合物に加えて、新エネルギーやエラクトラニクス、環境関連にも取り組む。新エネや水処理関連が拡大、この需要を取り込む。(12面)

1月20日(金)

不二越、江蘇省に新工場

油圧機器・精密工具/建機など向け

不二越は、江蘇省張家港市に自動車、建設機械、工作機械向け油圧機器や精密工具の工場を建設し、2013年1月に操業する。ショールームを併設する。工作機械やロボットの生産も検討。(8面)

ハーベス、潤滑剤を中国生産

デジタル・事務機器向け

ハーベスは、デジタルカメラや事務機器向けの潤滑剤の工場を中国に秋をめど

に開設する。現地の日系企業を中心に供給する。中国向け低コスト品は現地生産に切り替える。(18面)

TELOP

ホンダ、中国販売4.5%減
昨年61万7764台(時事=10日2面)

LIXIL、中国に生産合弁
キッキン7000t(10日13面)

上海に金融統括子会社
日本電産(11日3面)

ルノー、中国に生産拠点
政府に申請/東風会意(時事=11日3面)

受電機器、低価格型を集中投入
富士電機機器制御(12日8面)

LED照明、上海で生産
NECライティング(13日8面)

ANAセールスが上海支店
中国人の国内旅行者取扱(16日17面)

SRIスポーツ、上海に事務所
中国・韓国・東南ア調査(16日17面)

村田製作所、合肥市に事務所
中国5カ所目の拠点(19日10面)

中部薬品、中国社と資本提携
ドラッグストア手法提供(20日21面)

ひと
昇龍に乗れ

「上海だけ8100社の日本企業が進出している」と語るのは、三井住友フィンシャルグループ社長の宮田孝一さん。「(中国で事業を進める)日本企業と取引するだけビジネスチャンスは増える」と、昇龍に乗っていく構えだ。(13日=15面)

「銀聯」で観光を振興
「中国人の観光客や留学生が京都で現金を引き出す不便をなくしてあげたい」と地域金融機関で初めてATMによる中国銀聯カードの取り扱いを始めた京都銀行会長の柏原康夫さん。京都都市観光協会会長でもあり「観光振興は不便なところを解決することが大事」。(20日=23面)

とも寄与している」と滑らかな口調のは、良品計画社長の金井政明さん。「アジアに無印良品の思想を広げて、2013年度末に100店舗体制」と、アジアを一層攻略する考えだ。(20日=21面)

タイ洪水

ソニーテック、タイで攻勢
買替時値引き/水害品すべて対象
ソニーは、タイでのテレビ販売で攻勢をかける。洪水でテレビが故障した消費者がソニー製品を購入する場合、新規購入機種によって最大数十%を値引き。需要は洪水前の水準に戻る。(9日=1面)

洪水被害の企業、8年免税
国外への移転防ぐ

タイ投資委員会は、洪水で被災した企業がタイで投資を続ける場合、法人税を8年間免除する。現在、8年の免税は環境分野などに限定。免税対象を広げて国外への移転を防ぐ。(9日=2面)

タイ、治水計画を練り直し
工業団地周辺の防水対策を強化

タイが洪水からの復興を急ピッチで進めている。今年の雨期まであと半年。タイ政府は工業団地周辺の防水対策を強化すると同時に、国全体の治水計画の練り直しを急ぐ。(11日=深層断面=26面)

工作機械、600台が水害に

森精機/自社調査で、顧客の工作機械約600台が水害に。約100台は代替が必要な全損。約400台は判定が難しい。残りの約100台は顧客が廃棄する予定。(19日=6面)

ケーピン、生産を本格再開
エンジン周囲部品(17日3面)

不二精機、貸工場で一部生産開始
プリンタ部品(17日6面)

東洋エンジン、マレーシアで受注
バイオエタノール製造設備(19日6面)

HOYA、アユタヤ工場4月再開
メガネレンズ(20日9面)

ひと

タイは安全
「洪水は沈静化。観光客誘致は継続していく」と意欲をみせる、タイ観光庁アジア南太平洋担当副総裁のサンスン・ガオランシーさん。懸念される伝染病は「水が引いた地域で調査した結果、伝染病の類はまったく報告されていない。これからも維持できる」。(11日=13面)

ASIA

1月9日(月)

ヤマハ発、インド生産3倍
2輪車年150万台/工場新設

ヤマハ発動機は、2015年をめどに、インドで2輪車の年産能力を3倍の150万台に。総投資額は120億円。ニューデリー郊外の既存工場を増強。新工場の建設を検討。低価格モデルも拡販。(1面)

1月10日(火)

日本をアジア拠点に
国を挙げ「外資誘致」

アジア拠点化の立地の推進。国は、空洞化を警戒する一方、成長市場のアジアをはじめとする外資企業の誘致を積極化し、国内の雇用確保や立地の競争力強化を狙う。(深層断面=16面)

待。地域的な濃淡はあるが、足元の引き合いが活発化、増産を急ぐ。(7面)

ニブロ、ベトナムで医薬品製造
ジェネリック/日・米・欧基準に対応

ニブロは、ベトナムに医薬品製造会社を2月下旬に設立する。ハイフォンの工業団地に工場を建設。日・米・欧それぞれの基準に対応した品質保証体制を完備、ジェネリック医薬品を製造。(3面)

川重、台湾製鉄向け受注
炉頂圧回収発電設備/1万4000t

川重は、オーストリアのシーメンス・バイ・メタルズ・テクノロジーズから炉頂圧回収発電設備を受注。台湾製鉄会社大手の中龍鋼鐵第2高炉に導入。発電能力は1万4000t。

1月12日(木)

豊田合成、インドで設計・開発
エアバグ/評価設備も導入

豊田合成は、年内にインドの工場で設計開発業務を始める。エアバグなどの現地工場に常駐の設計開発担当者を配置、評価設備も導入。インドで現地ニーズに合った部品を迅速に開発。(5面)

工作機械受注、1兆2000億円

今年/新興国需要の取り込み力

日本工作機械工業会は、2012年の工作機械受注を1兆2000億円に設定。アジアをはじめとする新興国需要の取り込みが達成のカギを握る。強気・弱気が交錯するが達成は可能との見方。(6面)

1月13日(金)

豊田合成、インドで設計・開発
エアバグ/評価設備も導入

豊田合成は、年内にインドの工場で設計開発業務を始める。エアバグなどの現地工場に常駐の設計開発担当者を配置、評価設備も導入。インドで現地ニーズに合った部品を迅速に開発。(5面)

1月14日(土)

住生活、アジア9カ国に拡大
住設・建材/新興国取り込む

住生活グループは、住宅設備機器、建材の主要ブランドをインド、フィリピン、インドネシア、豪州の4カ国で販売する。アジア5カ国から9カ国に拡大。(5面)

1月15日(日)

ニフコ、インド南部に新工場

車用樹脂ファスナー/現代向け

ニフコは、2013年初めに、インド南部のチェンナイ市で自動車用樹脂ファスナー(留め具)の生産を始める。約13億円投資。新工場を建設し、主に韓国の現代

射出成形機、増産急ぐ

タイ復旧/中・米輸出増